

ひびき通信

平成 22 年
12 月版

在宅サポートセンター生田の介護サービスを紹介する新しいパンフレットが完成しました。私たちが日々実践している、「お

いしく食べる」「ぐっすり眠る」「すっきり排泄」「ゆったりお風呂に入る」といったケアを紹介しています。

新パンフ完成しました



パンフレット、資料請求につきましては、お気軽にお問い合わせ下さい。電話〇四四・九五五・一七一一。

時間の短いデイサービス

十一月一日からスタート

生き活き暮らす「初めの一步」に

在宅サポートセンター生田では、十一月一日より短時間のデイサービスを新たに開設いたしました。定員は四名。サービス提供時間は、午前時十時三十分から午後三時までです。

退院されたばかりで終日デイを利用するまでには体力が回復されていない、方や主に入浴を目的とされる方、初めてデイサービスを利用される方、大勢の中で過ごすのが苦手な方などにお勧めです。一番のポイントは「とにかく出かける」きっかけをつくること。短時間デイは、生き活き暮らすための「はじめの一步」です。

認知症介護教室の方々が見学に訪れました。

川崎市多摩区保健福祉センターが開催している「認知症介護教室」の受講メンバー十二名の方が、こ

のほど当センターの見学に訪れました。



在宅サポートセンターのケアの内容と設備について、熱心に耳を傾ける見学者の方々。

実際に在宅で認知症のお年寄りを介護されている家族の方は、機械に頼らない檜づくりのお風呂や、前手すりのついたトイレ、高さがある三種類に分かれている椅子やテーブルなど、身体機能を引き出す設備とケアのあり方などスタッフの説明を興味深く聞き入っていました。

来年 1 月 16 日 (日) 受講者募集中

「普通のお風呂」に「普通に入る」

当センターの檜浴槽で「理論」と「技術」を体験する

こだわりの入浴セミナー

在宅サポートセンター生田の金田由美子センター長による「こだわりの入浴セミナー」が来年一月十六日(日)に開催されます。

当センターの入浴セミナーは、二十年来、現場での経験をもとに確立した金田センター長の「入浴ケア」の技術と理論を、センター長自ら参加者に伝授する「実学」セミナーです。

当センターの檜浴槽にお湯を張り、お互いにモデルになりながら、生活リハビリ式ケアを体験してもらいます。受講申し込みは、在宅サポートセンター生田まで、電話〇四四・九五五・一七一一、ファクシミリ〇四四・九五五・一七二二。

「人が人らしくある介護とは」

看護と介護の視点

鳥海房枝さん
セミナー

体験から「現場力」を学ぶ

「高齢者施設における看護師の役割」の著者として知られる鳥海房枝さんのセミナーが、一〇月十七日、在宅サポ



介護現場での経験を語る鳥海房枝さん。

トセンター生田で開催されました。セミナーには、現役の看護師や介護職十二名が参加しました。鳥海さんは長年、東京都北区の保健師として勤務された後、特別養護老人ホームの副施設長を十年ほど勤めてきた介護界のエキスパートです。

セミナーでは、病院で寝たきりとなり重度の床ずれやこ縮となつて特養に入所された方々に対するケアの実践について、スライドを通して、看護と介護の視点から「最期まで人が人らしくあるためのケア」を力説。参加された方々は、鳥海さんの歯に衣着せぬ直言に、うなずきながら聞き入っていました。

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。

発行日：2010年12月1日
発行所：日本ケア創造株式会社

発行者：岸 忠宏
住所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

デイサービス響 居宅介護支援事業所 響
グループホーム響 宅老所「ほっと生田」